

ガリバーの宇宙旅行 (1965)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1965/03/20

【解説】

東映動画が手がけた初のSF長編アニメーションだが、内容的にはファンタジー仕立ての作品。極端に抽象化されたロボットなど、幻想的で独特な雰囲気仕上がっている。主人公テッド少年の声と挿入歌を当時の人気歌手“坂本九”が担当。森に迷い込んだ少年テッドは偶然、そこに住む年老いた冒険家ガリバーに出会い、宇宙の彼方にある青い希望の星を目指して宇宙旅行に出かけることになる。困難の末、青い星まであともう少しというところで、一行はひとつ手前の紫の星に強制着陸させられてしまう。ロボットのような奇妙ないでたちの紫の星の住人たち。彼らが言うには“青い星”はロボットたちに占領され、自分たちはこの星に逃げてきたというのだ。その後、青い星のロボットが攻めてきて、紫の星の王女をさらってってしまう。テッドとガリバーは力を合わせ、ロボットに立ち向かうのだが…。

【クレジット】

演出 黒田昌郎

監修 山本早苗

藪下泰司

製作 大川博

企画 小野沢寛

旗野義文

脚本 関沢新一

原画 大塚康生

撮影 篠崎文男

林昭夫

特殊効果 山本千秋

美術 横井三郎

児玉喬夫

編集 稲葉郁三

音楽 富田勲

主題歌作詞 関沢新一

主題歌作曲 富田勲

歌 西六郷少年合唱団

ダニー飯田とパラダイスキング Danny Iida & Paradise King

原画監督 古沢日出夫

出演 坂本九

本間千代子

宮口精二

テッド少年

紫の星の王女

ガリバー博士

「地球の
歌」

堀絢子
小沢昭一
大泉滉

ダニー飯田とパラダイスキング Danny Iida & Paradise King

今西正男
伊藤牧子

ノラ犬マック

人形の大佐

紫の星の王様

紫の星の科学者たち

青い星のロボット

島のクロー